

ポトマック通信

2017年(平成29年)3月号

編集者・発行人
ワイルス蓉子(Yoko Wiles)
Silver Spring, Maryland, USA

歴史の真実を曲げて伝える

国家ぐるみの悪辣な中傷

世界各地に慰安婦像を建てようとする国の

品位を問う

1月26日の朝日新聞の22面のトップ記事は「帝国の慰安婦 — 著者に無罪判決」であった。この記事によれば韓国の朴裕河(パク・ユル)世宗大学教授(59才)に対し、ソウル東部地裁は、1月25日に無罪判決を言い渡したとのことである。「帝国の慰安婦」は2013年8月に韓国で出版された。慰安婦の実態や旧日本軍や業者の関与などを説明し、また支援団体や日韓両政府による取り組みを検証して、解決策を模索した著書である。検察は15年11月「自発的に行った売春婦」「朝鮮人慰安婦と日本軍の関係が基本的には同志的な関係」などとした36ヵ所が名誉棄損に当たるとして起訴した。そして検察は、朴氏の表現は虚偽の事実だと主張し、懲役3年を求刑していた。しかし、判決は35ヵ所のうち30ヵ所は朴氏が主観的に意見を

表明したにすぎず、「具体的な事実を示したとは言えない」として、検察の主張退けた。残る5ヵ所は「事実を示した」と認めたものの、うち3ヵ所は名誉を棄損する内容ではないと認定したことである。今回の判決は、慰安婦がどういう存在だったのかといった歴史的な評価には踏み込まなかった。一方で判決は、朴氏が著書で示した見解は、刑事裁判の手続きで判断するものではないとの考えを示した。朴氏は、判決公判終了後、記者団に対し、「事態を正確に見た判決を出してくださり、本当に感謝する」と述べた。

次に、1月22日の慰安婦問題を取り組んでいる「なでしこアクション」からのメールによれば、2月6日にサンフランシスコ市の芸術委員会で、サンフランシスコ慰安婦碑設置承認が予定されているとのことである。そして、これまでのサンフランシスコにおける慰安婦碑に関する経緯がのべられている。まず、サンフランシスコ市当局は如何なる理由で、「韓国慰安婦像」の設置を許可したのであろうか。許可した経緯は以下の通りである。

2015年夏に中国系の市民が慰安婦碑設置決議を通すために市議会に決議案を提出した。そして、中國統一促進会のメンバーでもあるサンフランシスコ慰安婦碑設置の会は、韓国系団体に協力を依頼した。そして、9月に慰安婦碑設置決議が市議会で満場一致で可決した。さらに、2016年7月、カルフォルニア州の学校の歴史科目で、慰安婦についての記述を挿入することを決定した。さらに、12月にサンフランシスコ市のビジュアルアート委員会で慰安婦碑のデザインが承認された。さらに、今年1月に、慰安婦碑の碑

文が同委員会で承認された。1月の碑文承認の会議では、慰安婦推進派の中華系に要請されたであろうマイク・ホンダ前下院議員を始めとする日系人の碑設置推進派もスピーチをしたとのことである。この慰安婦像は、10代の少女3人が手をつないで柱の上に立っているのを、母親の年配と見られる女性が見上げている等身大の像である。この碑文がサンフランシスコの慰安婦碑承認の会議で承認されたと言うことは、中家系と韓国系の住民と日系人の委設置推進派が、アジアの歴史に全く無知であり、ただただ日本を卑しめる目的を持って建立しようとしていることを如実に示していると思う。以下は元慰安婦と、「慰安婦を支持する正義連合」による碑文である。

「私たちが一番恐れていることは、第2世界大戦中の私たちの苦痛に満ちた歴史が忘れされることである。」元慰安婦

「この碑は、1931年から1945年の間に、アジアの13ヵ国で、日本帝国軍隊によって姓の奴隸とされた婉曲的に『慰安婦』と呼ばれた何千人の女性と少女の苦痛を立証するものである。ほとんどの女性が戦争中に捕らわれの身で亡くなった。1990年に、生き残った証人が勇気をもって声を挙げるまで、この暗黒の歴史は何十年も隠されていた。

戦略の一つとして女性に対する性的暴力を行ったことは、政府が責任をとらなければならない人権に対する犯罪であることを、彼女たちは世界に認識させるために立ち上がったのである。

この記念碑はこれらの女性を追悼し、世界中から性的暴力と人身売買を根絶する運動

に捧げるものである。」慰安婦”を支持する正義連合

私はこの碑文を訳しながら血圧が上がるのを感じた。こんな虚偽と誇大に満ちた碑文は、明らかにサンフランシスコに在住する一部の中国人と韓国人が、日本を卑しめる目的で書いた碑文であることには間違いない。このように事実にまったく合わない碑文を掲げる正義連合と称する団体に真んの歴史的認識があるのかと疑わざるを得ない。

この碑文は、1930年代の東南アジアの諸国が、欧米諸国の植民地であった実情を全く知らずに（または故意に無視して）書かれたものである。1945年8月15日、日本が太平洋戦争で敗けるまで、フィリピンはアメリカの植民地であった。インド、ビルマ（ミャンマー）マレーシアはイギリスの植民地であった。インドネシアはオランダの植民地であった。そしてラオス、カンボジア、ベトナムはフランスの植民地であった。1940年9月に日本軍はベトナム（当時の仏領インドシナ）に進駐したが、これはアメリカが蒋介石総統の中国軍に戦争に必要な物資を運んでいる「援蒋ルート」を遮断するためで、勿論宗主国（フランス）と日本との間で、日本軍の進駐協定を結んでのことであった。そして、1941年12月8日、日本は米英仏蘭に対して宣戦を通告し、彼らのアジアの植民地であったシンガポール、ビルマ、フィリピン、インドネシアに、日本は軍隊を進めていったのである。従って、1931年から1945年の間にアジア13カ国という碑文は、全くの虚言と言わざるを得ない。（注：当時、東南アジアで唯一の独立国は、王室を持つシヤムと称した泰国だけであった。）戦後、戦勝国は再び植民地を取り戻すことができると

考えていたが、これらのアジア諸国では、手にした独立を手放す気はなかった。そして、これらの植民地は1947年にインドが独立したのを皮切りに、1963年まで、次々と独立を宣言していった。

日本がアメリカ、イギリス、フランス、そしてオランダに宣戦布告して、これらの植民地に軍隊を進めていったのは1941年である。この碑に書かれてある1931年というのは、まったくの間違である。次にアジア13カ国と書かれてあるが、以上の8カ国の他に、残る5カ国はいずれの国だったであろうか。このことからも、この碑文は全く歴史的事実に無知な人によって書かれたものか、もしくは故意に歴史的事実を無視して書かれたものであろう。そして、この碑の建立を推進した団体の日本を卑しめようとする意図は明白である。そして、もっと心外なのはこの碑を建てることを可決したサンフランシスコの市会議員である。彼らはこの碑文を承認する前に、歴史的事実を調べたのであろうか？カルフォルニア州に急激に増えた中国系や韓国系の市民の票に媚びたとしか思えない。サンフランシスコ市の姉妹都市である大阪市は、慰安婦像設置に関して慎重な対応を求める公開書簡送った。そして13日にサンフランシスコ市から返書をうけとった。書簡は市長名で、「この碑文の文言は事実に基づいており、人身取引の問題について啓発するという真の目的を伝えている」と市の機関が判断したと説明しているとのことである。公正であるべき市長と市の機関までが、中国系と韓国系の団体の一方的言い分を、無条件に受け入れていることは明白である。

そして、今度はそれこそ慰安婦問題に何の関係もないジョージア州アトランタに、慰安

婦を象徴する「平和の少女像」が、アトランタ市の市民権・人権博物館（National Center for Civil and Human Rights）に建てられることが明らかになった。アトランタ市韓国人会のキム・ベッキュ元会長が2月8日に明らかにしたとのことである。そして、このニュースは国立市民権・人権博物館側からも少女像の建設計画を確認したことである。キム元会長をはじめ、アトランタに居住している韓国人を中心に、過去3年間秘密裡に計画を推進してきたとのことである。慰安婦像と称する少女像の設置はカルフォルニア州グレンデールとミシガン州サウスフィールドの韓国人文文化会館に続いて3回目で、大都市では初めてになる。

2011年3月31日、アメリカで発行されている中国語新聞の「星島日報」は、2010年に実施された国勢調査の結果、過去10年でアジア系人口は43%も増え、1470万人に達したと報じた。この調査によると、2000年にはアジア系の人口は1020万人だったのが、10年間で1470万人に増えたとのことである。両親のどちらかがアジア系を含めると1600万人に上る。アジア系住民の最も多いのがカリフォルニア州で、2位はニューヨーク州、3位がテキサス州である。人口割合でみると、アジア系がもっとも多いのはハワイ州で、全人口の53パーセントを占める。なお、アジア系の人種別人口は以下の通りである。

中国系	380万人
フィリピン系	320万人
インド系	280万人
ベトナム系	170万人
韓国系	160万人
日本系	130万人

ベトナム系と韓国系が増えたのは、ベトナム戦争後、北ベトナムの共産政権を嫌ってベトナムから逃げ出したベトナム人を難民として受け入れたからである。また、韓国はベトナム戦争中、延べ5個師団を送った。アメリカ政府は、ベトナム戦争に参加した兵士とその家族にアメリカへの移住権を優先的に与えた。そして彼らが5年後に市民権を取得すると、一族郎党を続々と呼び寄せたので、韓国系が急増した。私が最も疑問に思うのが、戦後70年、強制連行ではなかったが、日本は2回も10億円の賠償金を慰安婦だったというおばあさんたちに贈っている。彼女たちと何の関係もない在米韓国人が、どうして慰安婦像と称する「少女像」をアメリカの方々の都市に建てようとするのか、全く理解に苦しむところである。在米韓国人の団体はこの像を建てる目的を以下のように述べている。

「これらの女性を追悼し、世界中から性的暴力と人身売買を根絶する運動に捧げものである。」

このようにもっともらしい建立の理由を述べているが、それでは韓国人が世界各地で行っている女性の性を売り物にする商売に対しては、免罪符があると思っているのであろうか？それについて詳しく書くことは控えるが、東京やニューヨークには、韓国人経営のコールガールの組織がある。私はアルゼンチンのブエノスアイレスを訪れた時も、最近韓国からの移住者が増えて、中にはいかがわしい商売をしている者もいると聞かされた。また、アメリカのノーサウスカイサンディエゴのような軍港のある都市で、アメリカの水兵と結婚した韓国女性が、夫が航海に出かけると、以前の商売をはじめるという話を聞いた。しかし、私が実際に目撃したわけではないし、人から聞いた話だけで公の場に持ち出

すのは公平ではないと思う。しかし「日本兵士の慰安婦」に関しては、戦中派最後の生き残りであるから、事実を伝えるのにやぶさかではない。そして、事実を調べれば調べるほど、「慰安婦」を世界の関係のない国にまで、事実を曲げて言い回り、慰安像を建てようとする韓国人に、厳しい言葉で言えば人間としての誇りがあるのかと問いたい。

2014年にカルフォルニア州に設立された「歴史の真実を求める世界連合会」(GAHT)の目良浩一會長によれば、2014年夏、米国の連邦裁判所に慰安婦像の撤去を求める訴えを提出しようとしたところ、門前払いをされたそうである。アメリカに住む戦後生まれの日本女性のなかにも、韓国の訴えを信じているなんとも情けない人がいる。目良會長によれば、アメリカの裁判所の判事は慰安婦が日本の軍隊の性奴隸にされたと信じているとのことで、「日本の軍隊は女性の人権を侵害し、日本政府は悪事を行った。そのような悪事を働いた人たちを擁護するような原告には、厳しく当たるべきである」といった風潮が判事の間にあるとのことである。そのような認識が、以前からあったのか、またはこの裁判を担当するようになってから、韓国系及び中国系の人たちに感化されてそう思い込んでいるのかは明らかではない。そしてこのような認識をもっている判事を相手に裁判を進めることは、非常に厳しいとのことである。彼らは、碑文のなかの日本を誹謗する表現には目をつぶって、慰安婦像は彼女の苦難を記念する人道的なものであると宣言し、外交には介入していないという判決を下した。そして、韓国及び中国の宣伝がかなり功を奏して、慰安婦は性の奴隸だったと信じている人が圧倒的に多いとのことである。目良會長

によれば、日本での常識は全く通用しないし、慰安婦についての日本側からの英文の情報が極めて少ないとのことである。私はアメリカを民主主義で人権に対して公平な国家であると信じて50年住み、市民権も取得した。しかし今では、在米中国人や韓国人のいうことだけを信じて、事実を調べようとしないアメリカの裁判所や「慰安婦像」を許可する地方政府に対して失望している。

佐々木類氏から「日本人はなぜこんなにも韓国人に甘いのか」という最近出版された著書を頂いた。佐々木氏は、産経新聞の北九州総局長兼山口支局長である。ワシントン支局長の時代から、この市井の一老婆の発行するポトマック通信を読んでくださっていることに深く感謝し、大いに励まされている。この著書のなかで、慰安婦問題についても、相当数のページにわたってお書きになっていた。私が最も共感を覚えたのは、以下のくだりである。

「問題の本質は、軍の関与がなければ成立しなかった慰安所で女性が自由をうばわれ、尊厳を傷つけられたことにあると女性の尊厳の問題にすり替える論調もあるが、今の感覚で当時を裁くような発想は、ことの本質を見誤るだけだ。慰安婦たちは当時、公娼として、並みの軍人よりも破格の給料をもらっていた。これは、1944年、ビルマ戦線で米軍が慰安婦に聴取した『アメリカ戦時情報局心理作戦班、アメリカ陸軍インド・ビルマ戦域所属』資料でも明らかだ。（編集者注：この事実は日本の銀行にも、当慰安婦が将官の給料以上も稼いでいた記録が残っているとのことである。）仮に公娼であったことを認めて、賃金の未払いを訴える元慰安婦がいるならば救済してあげねば、彼女たちも浮かばれない。

だが、支払い義務があるのは、あくまでも韓国政府である。日韓両国は1965年、請求権問題が『完全かつ最終的』に解決されたことを確認する日韓基本条約と、それに付随する日韓請求権並びに経済協力協定を締結した。そうである以上、韓国政府の責任で払うのが国際ルールである。」

私が最も遺憾に思っているのは、アメリカに住む戦後生まれの日本人の女性の間でも、韓国の宣伝を鵜呑みにして信じている人がいることである。71年前に日本が戦争に敗けるまでは、女性の社会的地位が低かったことや、貧困層に生まれた女性は、家族の犠牲になるのが当然という風潮があった時代のことば、戦後生まれの人たちには想像もつかないことだと思う。公娼制度が認められていたことも知らないと思う。現在、あらゆる大学が女性に門戸を開き、男性オンリーだった職業にもチャレンジできる時代になったのである。71年前まで、公娼制度があったことや、貧家に生まれた女子は家族の犠牲になるのが当然という社会風潮があった時代に育った私からみれば、現代の女性は羨ましいかぎりである。それだけに、事実を調べようともせず韓国人の言い分を丸のみにしているアメリカ在住の日本女性がいることを本当に口惜しく思っている。

私の歯医者は韓国人、治療も適切で人柄もよい。かつて20年も通った美容院も韓国人の経営で、リーさんとは今でも付き合いがある。孫の二人は娘夫婦が韓国の孤児院から養子にもらった韓国人である。我々夫婦は韓国人の孫も、他の孫と同じように可愛がった。現在、彼らはそれぞれ結婚して子供にも恵まれ、幸せな家庭を築いている。毎年、

一家の幸せそうな写真を貼ったクリスマス・カードが送られてくる。それだけに、ことさら「慰安婦」の話をねつ造してアメリカ中に触れ回る韓国や中国の団体に対して、正しい歴史的事実を知ってしいと願うものである。

付記：これを書き上げたのが2月26日であった。そして、「なでしこアクション」からのお知らせが、私のコンピューターに届いた。

「ご存じのように、カルフォルニア州のグレンデール市の慰安婦像の撤去を求める裁判で、第一審と第九地区控訴裁判所に於いては敗訴したので、最後の拠り所である米国連邦最高裁判所に嘆願書を提出したところ、先月23日に受理された。それから30日以内に第三者意見書(アミカス)が受け付けられることになったのであるが、本日、日本政府から嘆願者GAHTを支援するアミカスが、最高裁判所に提出され受理された。日本政府には以前から書面による支援を依頼していたのであるが、今まで実現していなかった。しかし、最終段階で、われわれを支援する第三者意見書を提出していただいたことに、我々は深く感謝する。連邦最高裁判所に請願された案件に関してはほんの1%くらいしか採択されず、他は棄却されるのが今までの習わしであるが、政府がアミカスを提出したので、採択のチャンスが向上した。」

戦後70年もたっているのに、「慰安婦を強制連行」と持ち出し、アメリカをはじめ、何の関係もない国々にまで銅像を建てようとする韓国の「恥知らず外交」、それを支持する歴史に全く無知な日本人。米国最高裁判所が取り上げてくれることを、心から願っている。

そして、この記事を書き上げたときに、コンピューターに産経ニュースの「アトランタの慰安婦像、設置許可せず、施設側が通達。韓国系団体『失望』」という記事が掲載された。アトランタの日本総領事館が慰安婦問題について日本政府の立場を関係者らに説明し、現地の日本人の働きかけが功を奏したとのことである。地元紙によると、センター側は今月2日、韓国系団体の代表に「さらに検討した結果、慰安婦像設置の要求を実現する立場ではなくなった」として計画を中止し、今後も設置しないことを通達。団体側は「決定に失望した」と語り反発した。そして、「像を設置する別の場所をアトランタで探している」とのことである。彼らの歴史的知識のなさに驚くと同時に、恥を知らない人々だと呆れるばかりである。

